**○○自主防災組織防災計画（例）**

下記の防災計画は、一例です。

自主防災組織の規模や活動内容によって内容を変更してください。

1. **目的**

この計画は、○○自主防災組織の防災活動に必要事項を定め、もって災害による人的、物的被害の発生及びその拡大を防止することを目的とする。

1. **計画事項**

この計画に定める事項は、次のとおりとする。

（１）防災組織の編成及び任務分担に関すること。

（２）防災知識の普及に関すること。

（３）防災訓練の実施に関すること。

（４）情報収集、伝達に関すること。

（５）出火防止、初期消火に関すること。

（６）避難誘導に関すること。

（７）安否確認に関すること。

（８）給食、給水に関すること。

（９）防災資機材等の備蓄及び管理に関すること。

1. **防災組織の編成及び任務分担**

災害発生時の応急活動を迅速かつ効果的に行うため、次のとおり防災組織を編成する。

（１）情報班・・・・・・・情報の収集・伝達

（２）消火班…・・・・・消火栓、消火器による消火

（３）救出救護班・・・・要救助者救出及び負傷者の救護

（４）避難誘導班・・・・住民の安否確認及び避難誘導

（５）給食・給水班・・・給食及び給水等活動

1. **防災知識の普及**

地域住民の防災意識を高揚するため、次により防災知識の普及を行う。

（１）普及事項は、次のとおりとする。

ア．防災組織及び防災計画に関すること。

イ．地震、火災、水害等についての知識に関すること。

ウ．各家庭における防災上の留意事項に関すること。

**５．防災計画**

大規模災害に備えて、情報の収集・伝達、消火、避難等が迅速かつ的確に行えるようにするため、次により訓練を実施する。

（１）訓練種別は、班ごと及び総合訓練とする。

（２）班ごと訓練は、次のとおりとする。

ア．情報の収集・伝達訓練

イ．避難・安否の確認訓練

ウ．消火訓練

エ．救出・救護訓練

**６．情報の収集・伝達**

被災状況を正確かつ迅速に把握し、適切な応急措置をとるため、情報の伝達を次により行う。

（１）情報班は、地域内の災害情報、市、防災機関、報道機関等の提供する情報を収集する共に、必要と認める情報を地域内住民に伝達する。

**７．出火防止及び初期消火**

（１）大規模地震等において、火災の発生が被害を大きくする可能性があるため、次の事項に注意をする。

ア．地震発生時電気のブレカー落とす。

イ．LＰガス元バルブを閉鎖する。

ウ．その他の火の元点検を行う。

（２）初期消火対策

地域内に火災が発生した場合、消防隊の到着が遅れる可能性がるため、人命救助を第一とし、協力し消火器、消火栓（使用できない場合がある）等を使用して初期消火を行い、延焼の拡大を防止する。

**８．救出救護活動**

建物の倒壊、落下物等により救出、救護を要する者が発生した場合、直ちに救出救護班は活動を行う。この場合は、付近の者は救出救護班活動に積極的に協力する。

なお、救出救護班は、負傷者が医師の手当てを要すると認めた時は、119番通報を行う。場合によっては、医療機関または市及び防災機関が設置する応急救護所に搬送する。

**９．避難対策**

大規模災害の発生が予測される時、又は火災の延焼拡大等により、地域住民の人命に危険が生じ、又は生じる恐れがある場合は、次により避難を行う。

（１）避難誘導等の指示

避難指示が出たとき、避難勧告が発令され、会長は必要される者があると認められた場合避難誘導班に対して、避難誘導の指示を行う。

（２）避難誘導

ア．避難誘導班は、会長の指示に基づき、住民を誘導する。

イ．安否の確認結果を会長に報告する。

ウ．避難所まで誘導が困難な場合は、安全な場所に誘導し会長に報告する。

**10．給食・給水**

（１）給食給水班は、市から配布された食料又は地域内の家庭から提供を受けた食料で炊き出し、又は配布等を行う。

（２）給食給水班は、市から提供された飲料水又は井戸等により確保した飲料水を配布する。